

<様式1> 管理運営状況評価書

【対象年度:平成26年度】

(④社会体育施設)

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名		掛川市B&G海洋センター		担当課名	社会教育課
区分		内容・説明			
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市海洋センター条例			
	(2)施設設置目的	市民スポーツの振興と青少年の健全育成を図ること			
	(3)施設が有する設備、機能の概要	屋内運動場(1102.3㎡)、研修室(30人収容)、駐車場40台、艇庫(200㎡)			
	(4)施設建設年度	昭和56年度			
	(5)耐震性能の有無	有			
	(6)将来予想される改修経費 (想定年度と費用見込み)				
	(7)指定管理者名	特定非営利活動法人 掛川市体育協会			
	(8)指定期間	平成24年4月1日 から 平成29年3月31日 まで			
	(9)施設の管理運営形態	③指定管理料+利用料金併用制度			
	(10)自主事業の有無	☒ 実施あり ☐ 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。			
(11)その他事業の有無	☐ 実施あり ☒ 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。				
(12)事業報告書提出の有無	☒ 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) ☐ 提出なし				
(13)利用者満足度調査等実施の有無	☒ 実施あり ☐ 実施なし ※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成 年度)				

区分			H24実績	H25実績	H26実績	H27当初	備考
2 利用状況	(1)施設利用者数	(目標値)	-	-	11,850	13,390	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。
		(実績値)	18,733	18,484	18,699		
	内訳 (施設・設備ごと)	アリーナ	16,897	16,708	16,792		
		研修室	893	716	738		
		艇庫	943	1,060	1,169		
	(2)稼働率(利用率)						↓備考欄に算定式を記入してください↓
	(施設・設備ごと)	アリーナ	A平日昼間		70.0%		算出式: 利用面数 / (利用可能面数6 × 営業日数)
			B平日夜間		88.0%		算出式: 利用面数 / (利用可能面数2 × 営業日数)
			C土日祝昼間		83.0%		算出式: 利用面数 / (利用可能面数6 × 営業日数)
			D土日祝夜間		84.0%		算出式: 利用面数 / (利用可能面数2 × 営業日数)
		研修室	A平日昼間		1.0%		算出式: 利用面数 / (利用可能面数3 × 営業日数)
			B平日夜間		26.0%		算出式: 利用面数 / (利用可能面数1 × 営業日数)
			C土日祝昼間		6.0%		算出式: 利用面数 / (利用可能面数3 × 営業日数)
			D土日祝夜間		28.0%		算出式: 利用面数 / (利用可能面数1 × 営業日数)
		艇庫	A平日昼間		10.0%		算出式: 利用面数 / (利用可能面数2 × 営業日数)
			C土日祝昼間		32.0%		

区分		H24実績	H25実績	H26実績	H27当初	備考
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名	NPO法人 掛川市体育協会	NPO法人 掛川市体育協会	NPO法人 掛川市体育協会	NPO法人 掛川市体育協会	※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
	(2)利用者一人当たりの運営経費	507	524	550		
	(3)運営日数	311	307	310		
	(4)運営人員	①正規職員	3.0	3.0	3.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。
		②臨時職員	1.0	1.0	1.0	

Ⅱ 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費	7,919,246	8,305,453	8,560,905	7,738,000	
	②印刷費	177,478	122,407	127,129	0	
	③通信費	228,103	192,085	199,204	131,000	
	④事務用品、旅費、図書費など	219,892	101,570	136,220	385,000	
	⑤借上料	136,559	151,807	143,004	156,000	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	436,620	427,880	659,340	658,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	384,415	383,520	452,336	515,000	
	計	9,502,313	9,684,722	10,278,138	9,583,000	
	対前年度増減率		1.9	6.1	△ 6.8	

区分		H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	1,592,228	1,581,153	1,039,635	1,280,000	
	建物管理委託等	1,592,228	1,581,153	1,039,635	1,280,000	
	②修繕費	82,950	167,717	443,085	160,000	
	③光熱水費	681,295	616,131	614,213	753,000	
	④燃料費	125,546	88,798	70,849	90,000	
	⑤清掃費	0	0	0	0	
	⑥保守点検費	0	0	0	0	
	⑦その他(施設消耗品)	215,944	224,509	258,440	182,000	
	計	2,697,963	2,678,308	2,426,222	2,465,000	
	対前年度増減率		△ 0.7	△ 9.4	1.6	
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A) + (B)		12,200,276	12,363,030	12,704,360	12,048,000	
(4)合計のうち運営コストの割合		77.9	78.3	80.9	79.5	
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する		1,222,475	1,281,030	1,443,360		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合		12.9	13.2	14.0		

Ⅲ 収支差額の状況 注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H24決算額	H25決算額	H26決算額	備考
a) 施設使用料収入				※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料				
収支差額 a)－b)				

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H24決算額	H25決算額	H26決算額	備考
a) 施設利用料金収入	1,222,475	1,281,030	1,443,360	※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a－トータルコスト)	△ 10,977,801	△ 11,082,000	△ 11,261,000	
c) bに対する市の支出額(指定管理料)	11,082,000	11,082,000	11,260,199	

(3)自主事業及び指定事業・その他事業の状況

(単位:円)

区分	H24決算額	H25決算額	H26決算額	備考
a) 自主事業の収入	140,892	141,577	127,871	
b) 自主事業の支出	7,200	7,200	7,200	
収支差額 a)－b)	133,692	134,377	120,671	
c) その他事業の収入				
d) その他事業の支出				
収支差額 c)－d)	0	0	0	

IV 担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	設置目的を達成できている	3	各種団体で利用されており、ニーズに応えられる施設管理とサービスの向上に努めること。
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度 <達成 3点、未達成 0点>

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
A 施設全体の満足度	90%以上	72.8%	0	
B サービス内容の満足度	90%以上	54.4%	0	
C 従業員対応の満足度	90%以上	80.6%	0	
D 施設安全対策の満足度	90%以上	64.1%	0	
E 美観・清潔感の満足度	90%以上	65.0%	0	
F 施設の利用者数	11,850人	18,699人	3	

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、達していなければ0としてください。

(3) 収支の改善状況

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	黒字である。	1	他の体育施設と一体的に管理することで効率的な人員配置を行い、作業の品質向上に努める。 艇庫については、指定管理者のB&G指導員資格取得推進により、効率的に教室を開催する。
2	収支均衡している。／前年度より収支差額が縮小(改善)している。		
1	赤字である。／前年度と同等の収支差額である。		
0	大幅な赤字である。／前年度より収支差額(赤字)が増えている。		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	指定管理者が、各施設毎に「緊急時対応マニュアル」を作成し、マニュアルに基づき配置職員を指導しているため問題無いと考える。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	2	体育館については、「さんりーな」と棲み分けをした施設として利用促進を図り、利用者のニーズに応えられるよう安全な施設管理に努めること。 艇庫については、広く市民が体験できおるような方法等について再考すること。
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がいいため、行政がやるべきである。 (直営化、収支差額補てん型指定管理者制度など)		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	2	他の体育施設と一体的に管理することで効率的な人員配置を行い、経費節減に努めること。
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計

13

／33

V その他自由意見

--